

ビューティーワールドジャパン 東京、まもなく開催

メッセフランクフルトジャパンは、日本最大級の国際総合ビューティー見本市「ビューティーワールドジャパン 東京」を5月13日から3日間、東京ビッグサイト東1〜8ホールにて開催する。

第26回となる同見本市には、約210の初出展者と約110の海外出展者を含む約800社が出展し、エステティック、ネイル、美容、健康、フエムケア・フエムテック、美容食品などに関する製品、サービス、技術などの最新情報を発信する。来場者と出展者が直接商談できる機会を創造することにより、ビューティ業界のさらなる活性化を支援するBtoBプラットフォームとしての役割を担う。



会場は製品カテゴリーごとに分けた14のゾーンで構成され、昨年新設された「ティスティ」と「フエムモア」は来場者の注目を反映してスペースを拡大した。落ち着いた雰囲気でできるVIPラウンジやカフェが設置されている特別エリア「プロラナホール」には、品質にこだわったハイエンドコスメや美顔器・美容機器のほか、韓国と中国のパビリオンが自国で人気を集めている製品が集結する。

「エステティックステーション」では、アンチエイジング医療の第一人者とされる日比野佐和子氏（大阪大学大学院医学系研究科未来医療学寄附講座 特任准教授）がサロンで活かせる幹細胞の最新情報を提供する。また、サロンオーナーや経営者向けとして、Z世代へのマーケティングを専門とする今瀧健登氏（僕と私と株式会社CEO）が世代を超えた美容業界のヒット術を披露するほか、美容とホテルの可能性について龍崎翔子氏（ホテルプロデューサー）が講演を行う。

会期2日目の5月14日には、ビジネス交流会として、アメリカ、アラブには、ビジネス交流会とケミナビは570品目を超えるサンプルの依頼や資料のダウンロードなどができる会員制サイトとして多くのユーザーが活用しており、2006年の開設以来、約1万5000名に利用されている。今回のリニューアルでは、化粧品、医薬品、食でも使いやすい画面設計を新たに実施していく。

日光ケミカルズ

製品サイト「ケミナビ」をリニューアル
検索項目を大幅に充実、
最新の化粧品・医薬品外用剤処方も拡充
日光ケミカルズは4月1日、製品サイト「Chemical Navigator（ケミナビ）」のリニューアルを行った。



ケミナビは570品目を超えるサンプルの依頼に合わせた検索項目を大幅に充実させ、希望の原料を検索しやすいとしたほか、今すぐ使える最新の化粧品処方や約400処方、テクスチャーにこだわった医薬品外用剤処方を約40処方に拡充した。さらにスマートフォン

9カ国・地域の出展者が国内のバイヤーに向けて、製品のプレゼンを行う。閉場後には出展者同士のつながりを深める立食式の交流会も企画しており、販路拡大の機会を提供する。



一般社団法人D2Cエキスパート協会 代表理事 小畑 徳彦 氏



ダイレクトマーケティングの代名詞は通販からD2Cへと移りつつあり、今や消費者向けのダイレクトマーケティング全般がD2Cと定義されるようになっている。

立ち上げるべく、2024年2月に一般社団法人通販エキスパート協会から名称を改め、全てのマーケティングがダイレクト化する時代を牽引する人材の育成・支援を目指している。

一般社団法人D2Cエキスパート協会では現在、2009年から実施している通販エキスパート検定スキルを定義し、セミナー・ワークショップなどの各種検定試験に加えて、24年4月から新たに法人会員制度を導入し、人材開発や産学連携、広告表現といった委員会活動を中心としたコミュニケーションを進めている。

今後の取り組みでは、D2Cのエキスパート人材に求められるスキルを定義し、セミナー・ワークショップなどの教育プログラムを提供していくほか、新人からマネージャークラスまでのスキルチェックや、薬機法広告検定といったキャリア開発のための検定試験を開発するための検定試験

を新たに実施していく。正取引委員会中部事務委員会活動を中心としたコミュニケーションづくりでは、健全な事業成長とコンプライアンスの両立を追求し、定期的な広告表現の勉強会や事例検討会などの場を提供する。また、D2Cエキスパート協会では、大学教員を務めた理事が多く、産学連携委員会を通じて大学や研究者とのコミュニケーション構築を図っていく。

代表理事の小畑氏も以前、流通科学大学商学部の教授を務め、公

事業者の広告適正化をサポートし
D2Cビジネスのさらなる発展へ

(禁無断転載) ©R
本紙の全部または一部を無断で複写複製(コピー)することは、堅く禁じられています。
本紙からの複写を希望される場合は、出版者著作権管理機構(JCOPY) (03-3513-6969)まで必ずご連絡下さい。